

事業者向け 放課後等デイサービス評価表の集計結果（公表）

公表：令和2年3月12日（木）

事業所名：発達支援センターあさくち

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点 |
|------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | 3 | 2 | ・体格のよい男児には狭いと思う。 ・発散を兼ねて戸外などにも出るようにしているが、時間が限られておりまた天候にも左右される為十分な措置とは書えない。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | |
| | 3 | 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 2 | | ・事業所にくるまでに、建物の中の階段を利用してもらっているが、金光支所内がエレベーターを使用禁止にされているため、送迎時足の不自由な祖父母の送迎や妊婦さんなどには不便な思いをさせている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 5 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 3 | 2 | | ・昨年度は窓口に閲覧できるように置いていた。今年度はホームページに公開予定。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 5 | |
| | 8 | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | ・学童期の研修にも参加している。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | ・責任者の視点に偏りがちではある。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 1 | 3 | ・適応行動状況をはかるためのアセスメントツールは特別に用意していない。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 3 | 2 | 1 | ・その時（回）の主な職員に任せきりになりがち。 |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|----|--|---|---|---|---|
| 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 1 | | • 子どもの意見を取り入れている。そのため偏ってしまうぶんはある。 |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | • 長期休暇を利用し（時間が長くとれるので）社会体験などを行っている。 |
| 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 1 | 3 | 1 | |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 1 | 3 | 1 | • 時間の関係で、当日は難しい面がある。 • 特記事項は伝えている。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか | 5 | | | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 4 | | 1 | |
| 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | | |
| 21 | 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 | | | |
| 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 4 | | • 今は該当児がおられない。 |
| 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 5 | | | |
| 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 2 | 1 | • 小2までなので、移行時にかかわれない。 • 事業所から情報提供の依頼があれば、保護者の承諾を得て提供する用意はある。 |

関係機関や保

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|---|---|
| 保護者との連携 | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 2 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流があるか | | 3 | 2 | ・直接的には交流はない。研修などで支援員さんと交流したり情報共有、交換する機会はある。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 1 | 1 | ・責任者のみが参加。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | 2 | | ・時間の関係で難しい時がある。 ・送迎に来られるご家族によって、話ができる時とそうでない時とある。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 1 | 1 | ・当事業所ではおこなっていない。 ・母体の笠岡学園や、浅口市が主催のペアトレ研修会を紹介、案内はしている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | 2 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 1 | 3 | ・開催はできていない。親の会等の紹介はしている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | | 2 | ・会報等はない。行事、イベント時はお手紙を作成する。 ・お知らせはしている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 2 | 3 | ・個人情報のことを考えると難しい。 ・民生委員の会などから研修、見学の依頼があれば保護者の同意を得てお受けしている。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 2 | | ・今あるものでは不十分。（今回の新型コロナウイルス等、今まで経験したことのないような緊急事案がある為。） |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 2 | 3 | 1 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 1 | 2 | 2 | ・身体拘束が必要だと思われるケースが無い |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 2 | 2 | 1 | ・保護者からの聞き取り。 ・小学校と同様の措置にしている。（小学校がアレルギー除去であれば、医師の診断書が紙媒体で無くてもそうしている。） |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | |